



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 嘉章
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 兼森 一寿 TEL 03-5323-0231
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	22,779	△0.4	160	△78.6	223	△89.4	80	△94.4
2025年3月期第1四半期	22,871	8.3	749	—	2,112	219.6	1,430	591.6

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △3,555百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 2,368百万円 (160.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	1.12	—
2025年3月期第1四半期	20.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	140,649	76,447	52.8
2025年3月期	148,540	81,428	53.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 74,224百万円 2025年3月期 79,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	0.5	4,000	5.1	3,400	△38.6	2,000	△47.2	28.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	71,256,476株	2025年3月期	71,256,476株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,642株	2025年3月期	4,595株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	71,251,850株	2025年3月期1Q	71,230,578株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調で推移しているものの、景況感の悪化など一部に停滞感が生じていることや、米国の通商政策の影響による景気後退懸念、継続的な物価上昇や為替変動などを注視する必要があり、先行き不透明な状況が続いております。世界経済においても、中国及び欧州経済の停滞や、各国の通商政策動向による世界経済の悪化懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においては、一部地域においては自動車需要回復の兆しが見られるものの、需要低迷が継続している地域もあり、受注は引き続き低調に推移しております。

当社グループは、日系主要顧客向けの販売は順調に推移したものの、欧州市場の停滞による外資主要顧客向けの販売が減少したことなどにより、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は227億79百万円（前年同四半期比0.4%の減収）となりました。

利益面につきましては、生産工場の稼働率が低調に推移したことなどの影響により、当第1四半期連結累計期間の営業利益は1億60百万円（前年同四半期比78.6%の減益）となりました。

営業外収益では、タイ向けの金銭消費貸借契約に基づく貸付金の為替影響が、前期は円が対タイバーツで4.8%下落となり為替差益は13億31百万円を計上しましたが、今期は0.5%と小幅な下落にとどまったことや、外貨建て債権債務の為替影響は円対米ドルの上昇と円対ユーロの下落で為替影響が相殺されたことにより、当第1四半期連結累計期間為替差益は1億12百万円となりました。

このため、当第1四半期連結累計期間の経常利益は2億23百万円（前年同四半期比89.4%の減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は80百万円（前年同四半期比94.4%の減益）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

(日本)

国内の自動車販売台数が増加した影響などにより、車載向けの販売が増加し、売上高は137億53百万円（前年同四半期比2.1%の増収）となりました。

利益面では、プロダクトミックスの変化に伴う高付加価値製品の減少などの影響により、セグメント利益は1億58百万円（前年同四半期比72.6%の減益）となりました。

(中国)

中国市場における自動車メーカーの販売は、一部のメーカーにおいては、販売状況に回復の兆しが見られるものの、その他のメーカーでは依然として厳しい販売状況が続いていることなどの影響により、車載向けの販売が減少し、売上高は40億5百万円（前年同四半期比11.0%の減収）となりました。

利益面では、前年度に実施した生産設備の合理化やその他生産性向上などにより、セグメント利益は3億95百万円（前年同四半期比913.9%の増益）となりました。

(東南アジア)

欧州市場の停滞による外資主要顧客向けの販売が減少したことなどにより、車載向けの販売は減少したものの、家電の販売が増加したことなどにより、売上高は40億42百万円（前年同四半期比5.3%の増収）となりました。

利益面では、タイ工場の生産能力拡大に対応するため更新した生産システムの立ち上げ過程において調整が必要となり生産に遅れが生じたこと、また、新工場の稼働準備に向けた人員増等の費用増加により、売上と利益は低調に推移し、セグメント損失は3億99百万円（前年同四半期は3億49百万円のセグメント利益）となりました。

(欧米)

欧州の自動車販売台数が減少した影響により、車載向けの販売は減少し、売上高は9億77百万円（前年同四半期比7.5%の減収）となりました。

セグメント利益は物流コストの圧縮などにより63百万円（前年同四半期比52.6%の増益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.2%減少し、566億30百万円となりました。これは、主にタイの生産工場への設備投資及び借入金の返済や配当金の支払いなどにより現金及び預金が48億9百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、839億95百万円となりました。これは、円に対して米ドル・タイパーツは前期に対して小幅な通貨安にとどまるなどの為替影響により、有形固定資産が21億55百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.3%減少し、1,406億49百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、331億75百万円となりました。これは、主に借入金の返済により短期借入金が15億円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、310億26百万円となりました。これは、主にパーツ安による為替影響と1年内返済予定の長期借入金への振替により長期借入金が24億64百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.3%減少し、642億1百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、764億47百万円となりました。これは、為替影響により為替換算調整勘定が35億98百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,193	17,384
受取手形及び売掛金	17,847	17,417
電子記録債権	1,782	1,562
商品及び製品	10,141	10,005
仕掛品	5,088	5,045
原材料及び貯蔵品	3,337	3,548
その他	1,993	1,669
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	62,382	56,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,832	12,728
機械装置及び運搬具(純額)	20,998	21,555
土地	7,028	7,002
建設仮勘定	33,659	31,120
その他(純額)	1,972	1,930
有形固定資産合計	76,492	74,337
無形固定資産		
のれん	15	14
その他	979	949
無形固定資産合計	995	963
投資その他の資産		
投資有価証券	4,041	4,145
退職給付に係る資産	2,114	2,128
その他	2,510	2,443
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	8,643	8,694
固定資産合計	86,131	83,995
繰延資産		
社債発行費	27	23
繰延資産合計	27	23
資産合計	148,540	140,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,540	11,559
電子記録債務	2,469	2,220
短期借入金	6,000	4,500
1年内償還予定の社債	773	773
1年内返済予定の長期借入金	6,049	6,626
未払法人税等	521	137
賞与引当金	726	1,261
製品保証引当金	37	45
その他	5,568	6,051
流動負債合計	33,686	33,175
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	28,295	25,831
退職給付に係る負債	175	205
資産除去債務	512	512
その他	1,443	1,477
固定負債合計	33,425	31,026
負債合計	67,112	64,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,102	24,102
資本剰余金	18,758	18,758
利益剰余金	19,959	18,614
自己株式	△3	△3
株主資本合計	62,817	61,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,880	1,952
為替換算調整勘定	13,775	10,176
退職給付に係る調整累計額	638	623
その他の包括利益累計額合計	16,294	12,752
非支配株主持分	2,316	2,222
純資産合計	81,428	76,447
負債純資産合計	148,540	140,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	22,871	22,779
売上原価	19,255	19,735
売上総利益	3,616	3,043
販売費及び一般管理費	2,866	2,883
営業利益	749	160
営業外収益		
受取利息	18	31
受取配当金	69	71
受取賃貸料	18	18
為替差益	1,331	112
その他	57	42
営業外収益合計	1,496	276
営業外費用		
支払利息	88	157
支払手数料	4	6
租税公課	18	15
その他	21	34
営業外費用合計	133	212
経常利益	2,112	223
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	20	1
固定資産除却損	118	21
特別損失合計	138	22
税金等調整前四半期純利益	1,974	202
法人税等	523	98
四半期純利益	1,451	104
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,430	80

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,451	104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	72
為替換算調整勘定	830	△3,716
退職給付に係る調整額	△15	△15
その他の包括利益合計	917	△3,659
四半期包括利益	2,368	△3,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,246	△3,461
非支配株主に係る四半期包括利益	121	△93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	13,474	4,502	3,838	1,056	22,871	—	22,871
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,474	4,502	3,838	1,056	22,871	—	22,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	316	3,769	4,535	—	8,621	△8,621	—
計	13,791	8,271	8,373	1,056	31,493	△8,621	22,871
セグメント利益	577	38	349	41	1,007	△257	749

(注) 1. セグメント利益の調整額△257百万円には、セグメント間取引消去177百万円、全社費用△434百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント間取引消去の報告セグメント別の内訳は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	日本	中国	東南 アジア	欧米	計
セグメント間取引消去	△7	272	△87	—	177

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1、2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国	東南 アジア	欧米	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	13,753	4,005	4,042	977	22,779	—	22,779
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,753	4,005	4,042	977	22,779	—	22,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	336	4,302	4,386	15	9,040	△9,040	—
計	14,090	8,307	8,429	993	31,820	△9,040	22,779
セグメント利益又は損失 (△)	158	395	△399	63	218	△58	160

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△58百万円には、セグメント間取引消去359百万円、全社費用△417百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント間取引消去の報告セグメント別の内訳は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	日本	中国	東南 アジア	欧米	計
セグメント間取引消去	5	86	269	—	359

2. 当社はより適切な経営判断のため、当連結会計年度から、これまでの業績管理方法に加え、セグメント間取引消去後の業績での管理も行うこととしたため、セグメント間取引消去の報告セグメント別の内訳を記載しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても記載しております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,369百万円	1,479百万円